



学びと誇りが実感できるまち ～目標をもつこと！～

平成30年4月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

たんぽぽの皆上向きて正午なり (星野立子)

希望に燃える新年度が始まりました。
各学校やそれぞれの職場をはじめ、自治振興区や地域などでは新たな目標に向けて、5年先、10年先を見通すなかで、この1年間の具体的な取り組みが始まっていることと思います。

私たちも昨年度まで努力を重ねてきた活動の成果や課題を検証し、引き続き課題解決に向けた取り組みを行うことはもちろんのこと、新たに設定した目標に迫る行動を起こすこと、また、これからの社会で活躍できる人材の育成を基本とした施策や事業の実施など、本年度も全力投球で取り組みを行います。

とりわけ、本年度から各学校では新学習指導要領の内容に沿った取り組みが始まり、また、広島県全体で推進していた「学びの変革」アクションプランもすべての学校において実践しますので、「主体的な学び」をより一層推進します。「主体的な学び」とは、知識を一方向的に授けられるのではなく、学習者自らが能動的な学びを展開することです。

さて、本年度も子供たちがめざす目標を設定し、それに向かって着実に歩み続け、楽しい学校生活を送ることができるよう願っています。

「どんな努力をしているか」と尋ねられて、
たじろがずに答えられる人は、成功者の門に立っている。
(実業家 ウィリアム・クロスキー)

何事も「ただ頑張る！頑張る！」という気持ちだけでは、継続して努力することはなかなか難しいものです。長続きさせるためには、まず、具体的な目標をもつよう心掛けることが大事です。その上で、やるべきことを確認し、いつまでに、どのようなことをするのかといったことを明らかにしていきます。そうすれば、目標に向かって、今の状態を確認しながらこつこつと努力する姿勢ができ、日々の過ごし方も変わっていくと思います。自分の強みも強化され、成果を出すことにもつながっていくでしょう。

目標を持ち、それに向かう強い気持ちと、そのための努力を惜しまない態度が培われるよう、子供たちの前向きな心や行動力を応援してください。
本年度もよろしくお願いいたします。